

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、12月25日時点で報告された新型コロナウイルスの感染者は398人となり、感染者の発生が続いています。県民の皆様には、引き続き『マスクの着用』『3密の回避』『手洗い・消毒』などの感染症対策を心がけてください。また、年末年始は『帰省など感染拡大地域との往来』『県外の旧友たちとの会合』『季節行事の人混み』に注意し、感染拡大防止に努めましょう。発熱等の症状がある場合、あらかじめ、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(089-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』➡



発生動向の概況

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、第50週1.1人、第51週1.0人と横ばいに推移しています。この疾患は冬季に増加する傾向がありますので、感染予防のため、外出後のうがいや手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第50週3.3人、第51週3.0人と横ばいに推移しています。調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)、手袋、マスクを着用しましょう。

日本紅斑熱の届出が1例(宇和島保健所管内在住)ありました。この疾患は、マダニが媒介する感染症です。防虫スプレー(ディート含有)を使用するなど、マダニに咬まれないよう注意しましょう。

梅毒の届出が1例ありました。この疾患の原因菌は梅毒トレポネーマで、大部分は性行為により感染します。感染予防に対する正しい知識を持つとともに、早期発見のため、不安のある方は県内各保健所で実施している電話相談や無料・匿名検査をご利用ください。また、梅毒に感染したと分かった場合は、周囲で感染の可能性のある方(パートナー等)にも検査を勧め、必要に応じて一緒に治療を行うことも重要です。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症 : 結核 3例
- 四類感染症 : 日本紅斑熱 1例(70歳代女性)
- 五類感染症 : カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例(50歳代男性、70歳代男性)
梅毒 1例(50歳代男性、2020年県内累計58例)
- 指定感染症 : 新型コロナウイルス感染症 26例

*その他、第49週分としてカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1例(40歳代男性)の届出がありました。

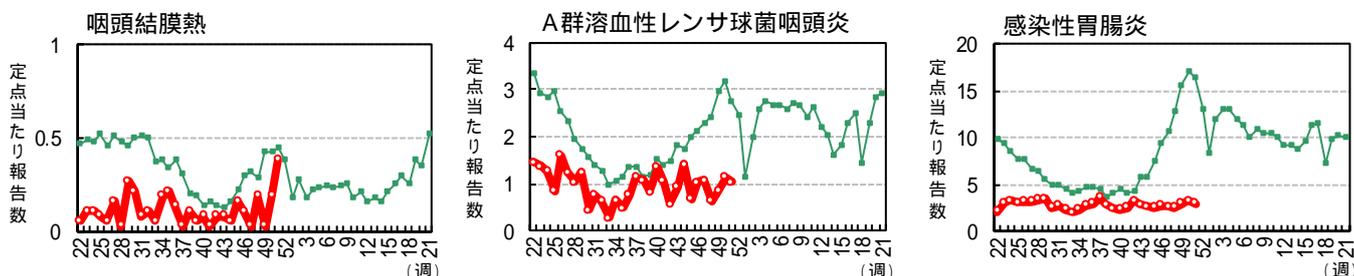
定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	➡ 0.4	増加。今治保健所でやや多い。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡ 1.0	横ばい。
感染性胃腸炎	➡ 3.0	横ばい。

解析評価委員のコメントから

- 咽頭結膜熱 : [東予] 今治市であるようです。結膜炎のないアデノウイルス感染症は、西条市でもみられます。[中予] 散発しています。[南予] 発生はありません。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : [東予] 横ばいです。[中予] 減少しています。
- 感染性胃腸炎 : [東予] 重症は少ないですが、横ばいです。[中予] やや減少しています。[南予] 前週より低下傾向ですが相変わらず発生はあるようです。

過去30週の動向 (➡ : 過去30週の動向、➡ : 過去10年の平均)



(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

第47週に松山市で採取されたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者検体からA群溶血性レンサ球菌が1例検出されました。T血清型別はTB3264型でした。

第47週に松山市で採取されたヘルパンギーナ患者検体からコクサッキーウイルスA10型が1例検出されました。

第50週と第51週に松山市で採取されたヘルパンギーナ患者検体からコクサッキーウイルスA4型が2例検出されました。

第48週に松山市で採取された流行性角結膜炎検体からアデノウイルスが検出されています。現在、遺伝子型を同定中です。

過去5週 検出病原体

(2020年11月16日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
47	11/16～11/22	松山市	A群溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			ヘルパンギーナ	コクサッキーA10	咽頭ぬぐい液	1
50	12/7～12/13	松山市	ヘルパンギーナ	コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1
51	12/14～12/20	松山市	ヘルパンギーナ	コクサッキーA4	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検体採取月		2020						合計
検出病原体		7	8	9	10	11	12	
ウイルス	コクサッキーA4			1			2	3
	コクサッキーA10			1	1	1		3
	ライノ		1					1
ウイルス計			1	2	1	1	2	7
細菌	サルモネラO7				1			1
	A群溶レン菌	1	1			1		3
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌		1					1
細菌計		1	2		1	1		5

臨床診断別検出結果(2020年10月以降採取検体)

検出病原体	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	合計
コクサッキーA4			2	2
コクサッキーA10			2	2
ウイルス計			4	4
サルモネラO7		1		1
A群溶レン菌	1			1
細菌計	1	1		2

注) 表中の検出数は12月22日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

全国 定点把握感染症 2020年 第49、50週 (2020.11.30 ~ 12.13)

(定点当たり報告数)

	1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
愛媛県			.0	.8	3.0	.3	.1		.4	.2	.1		1.1					
近畿 県	香川県		.3	.6	2.0	.3	.8		.6	2.0	.1		.4					
	徳島県	.0	.2	.1	2.0	.1	.1	.0	.5	1.0	.1					.1		
	高知県		.2	.8	1.3	.3	1.8		.5	.6	.0		.7					
49 週	全 国	.0	.1	.3	.8	2.4	.2	.1	.0	.4	.1	.0	.2		.0	.0	.1	
	北海道	.0	.0	.5	1.2	.6	.3	.0	.0	.2		.0	.2				.1	
	東北	.0	.1	.3	.9	2.6	.2	.1	.0	.5	.1	.0	.3				.0	
	関東	.0	.0	.2	.6	2.0	.2	.0	.0	.4	.1	.1	.0	.3		.0	.0	
	甲信越北陸	.0	.0	.4	.9	3.0	.3	.0	.0	.4	.1	.1	.2				.1	
	東海	.0	.0	.2	.6	1.6	.1	.0	.0	.4	.0	.0	.1		.1	.1	.1	
	近畿	.0	.0	.3	.6	2.0	.2	.0	.0	.3	.2	.0	.2			.0	.0	
	中国四国	.0	.0	.2	.7	2.2	.2	.5	.0	.4	.5	.0	.4			.0	.0	
	九州沖縄	.0	.7	.4	1.4	5.0	.3	.5	.0	.5	.1	.1	.3		.0	.0	.0	

(12.9集計)

愛媛県			.2	1.1	3.3	.3	.0		.7	.5	.1		1.0				.2	
近畿 県	香川県		.3	.8	2.4	.1	.4		.5	2.2	.0	.2	.2					
	徳島県		.5	.3	1.9	.2	.0		.3	.9	.1		.3					
	高知県		.1	.7	1.3	.2	1.5		.5	.7								
50 週	全 国	.0	.1	.3	.8	2.8	.2	.1	.0	.4	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.0	
	北海道	.0		.5	1.2	.8	.2	.0	.0	.2		.0	.1				.0	
	東北	.0	.2	.3	1.0	3.0	.3	.0	.0	.5	.1	.0	.1				.1	
	関東	.0	.0	.2	.6	2.3	.2	.0	.0	.4	.1	.0	.3		.0	.0	.1	
	甲信越北陸			.3	.9	3.1	.3	.0	.0	.3	.1	.0	.2		.0	.0	.1	
	東海	.0	.0	.3	.5	1.6	.1	.0	.0	.3	.0	.0	.2		.0	.0	.1	
	近畿	.0	.0	.3	.6	2.2	.2	.0	.0	.3	.1	.0	.3	.0	.0		.0	
	中国四国	.0	.0	.3	.8	2.2	.2	.4	.0	.4	.5	.0	.3		.0	.0	.0	
	九州沖縄	.0	.8	.4	1.5	6.9	.3	.5	.0	.5	.1	.1	.2		.0	.0	.0	

(12.16集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

